

# 国連安保理改革訴え

## ロシアの拒否権を批判

ロシアの侵略を疑むるウクライナのゼレンスキー大統領は10日、国連安全保障理事会において、「第2次世界大戦終結以来、最も凶惡な戦争犯罪が行われている」と述べた。また、ロシアの拒否権が「死なせる権利」につながらないもんと指摘。国連改革の必要性を訴えた。▼2面=安保理に講演面=衛星写真を分析 10面=社説



国連安全保障理事会の会合でオンライン演説するゼレンスキーハー=国連ウェブTVから

## 新たに400人以上不明の報道

ウクライナ当局者は、首都キーウ（キエフ）近郊のフチャニアで民間人とみられる410人の遺体を確認した。フチャニアを視察したゼレンスキーハー氏は「いま金谷下」「白銀者（ロシア軍）がかかるばかりに戦争を見つひるのは困難だ」「大人の子供も家庭金庫を殺し、遺体を隠す」と語った。ロシア軍に占領されていたソシトサハチャヤとの市民

殺害を「實」と認定。ネバンジヤ国連大使は「歐米だけが、じつはイクショーニだまされてる」と訴えた。

年）が明るみ出のじて、ロシアが敵軍犯罪者として処罰される」とを求めた。ゼレンスキーハー氏は、フランス語で「私は「いまは2022年だ。決定的な結果がある」とされたとの批判がある。衛星画像があり、徹底した、透明性のある調査を行なうことができること」と指摘。国際機関の協力を国際刑事裁判所の捜査により、「完全な眞実と眞

明だなっていると報じた。一部は死した可能性があ



## ゼレンスキーハー氏

ゼレンスキーハー氏が演説で「国連システムは、拒否権が「死東力のある決議は一度も採択されていない」。ゼレンスキーハー氏は「国連

の決議をいつでも採決する」とした。国連の平和と安全の維持としとあると強調した。国連を扱う安保理は長い間は極めて難しく。（聯合国開会式）

なやめ難く」にならないよ  
うに改憲しなければならぬ  
い」と語る。「ウクライナ  
の平和のために、安保理の  
決定をいま必要として  
いる」と主張。今回の改革に  
關してロシアを憲法決定の  
改革の必要性が擁護さ  
れていた。だが拒否権の制  
限を加えたり、理事国を増  
やしたりする手続きを進める  
には常任理事国が反対し  
ないことが条件となり、実  
現は極めて難しく。（聯合国  
開会式）

ウクライナの首都キーウ（キエフ）近郊のフチャニア、ボラハイアから支援物資を搬び取る住民たち=AP